

第 23 回 鈴鹿 F 1 グランプリ地域活性化協議会 議事要点録

日 時：平成 29 年 8 月 4 日（金）14 時 00 分～15 時 25 分

場 所：鈴鹿市役所 本館 12 階 1203 会議室

出席者：35 名（別紙『組織構成及び出席一覧表』参照）

組織委員 28 名（全 38 名中 出席 18 名，代理 10 名，欠席 10 名）

事務局（鈴鹿市）7 名

内 容：以下のとおり（要旨）

1 あいさつ

【鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会 会長 鈴鹿市長 末松 則子】

- ・第 23 回鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会に御出席を賜り，心より御礼を申し上げます。
- ・先日開催された鈴鹿 8 時間耐久ロードレースは 40 回の節目の大会ということで，例年以上に盛り上がった大会であり，鈴鹿のモータースポーツの魅力を発信することができた。
- ・5 年連続の観客数の増加は，本市にとっても大変喜ばしいことなので，本年の F 1 グランプリについてもこの熱気を継続していきたい。
- ・10 月の F 1 日本グランプリに向け，環境整備部会，おもてなし部会の両部会において，交通渋滞の緩和や，おもてなしの向上を図るために，様々な施策に取り組んでいただいている。観戦者及び地域住民が満足いただけるよう，協議会の皆様方としっかりと連携し，取組を進めていく。

2 承認事項

（1）2016 年度決算及び監査報告について【資料 1】【鈴鹿市地域資源活用課長 岡田】

- ・2016 年度鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会収支決算報告書に基づき説明。
- ・収入 11, 231, 328 円， 支出 10, 268, 540 円， 差額 962, 788 円は 2017 年度へ繰越し。
- ・監査の結果，収支決算書及び関係帳簿等が適正である旨を岩崎監事報告。

◎拍手多数により承認。

※ F 1 日本グランプリレース開催概要について

【株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 塩津氏】

- ・本年の F 1 日本グランプリレースの開催概要について，説明させていただく。
- ・今年開催日程について，10 月 5 日から 9 日までの 5 日間であり，10 月 8 日が決勝となっている。
- ・規則が大幅に変更になる。車両の形が変わり，スピードも速くなるので，レコードが期待される。昨年同様 10 月の 3 連休に開催されることから，遠方の方に来ていただきやすい。
- ・ドライバーは他チームに移籍し，大きく変化している。メルセデス一強から，メルセデスとフェラーリのチャンピオンシップ争いが非常に白熱している。
- ・マクラーレンホンダは 3 年目になる。残念ながら現状は低迷しているが，先だつての

ハンガリーGPではダブル入賞を果たしている。今後鈴鹿GPに向けて調子を上げていってほしい。

- ・日本人ドライバーは不在。決勝の時間は、土曜予選 15 時 日曜決勝 14 時と昨年同様である。チームのポイントはメルセデスとフェラーリが争っており、ドライバーポイントはフェラーリのベッテルがトップである。
- ・今年のテーマは昨年に引き続き、「THE 1 AND ONLY」。三重県出身の書家伊藤潤一氏の作品である。ドラマチックなレース展開、鈴鹿ならではのイベント、地域の皆様と一体になったおもてなし、会場がひとつになった盛り上がりを用意していく。
- ・海外来場者数は好調に推移している。ホームページの充実に加え、英語実況や免税店設置など楽しんでいただける環境を強化していく。
- ・今までできなかったイベントを実現していく。まだ決定ではないものもあるが、いくつか説明する。
- ・F1ドライバーとお子様との触れ合いは、全チームが協力してくれている。非常に近い距離で触れ合えるのは、鈴鹿ならではのものである。
- ・こちらもまだ確定ではないが、土曜の夜にピットウォークを企画している。将来のF1ファン化に繋がるファミリーに対する企画でもある。
- ・スタートセレモニーとしては、デモラン、国歌斉唱とともに自衛隊機フライトなどを企画している。ゴールセレモニーとしては、グランドスタンドのお客様に表彰時にホームストレートへ入場していただく。
- ・レジェンドコンテンツを活用したイベントは、ウィリアムズのレジェンドゲストトークやレジェンドマシンの展示を予定している。
- ・今年も市民応援席を展開している。昨年より苦戦している状況である。また昨年よりふるさと納税のお礼品としても、観戦チケットを設定していただいている。
- ・来場者は昨年同様 162,000 名を見込んでいる。皆様のご協力をお願いしたい。

(2) 2017 年度事業計画について

①環境整備部会【資料 2】

(1) 2017 年 F1 日本グランプリ開催時における交通円滑化施策実施について

【三重河川国道事務所計画課 中井氏】

- ・資料 2『環境整備部会資料』1P～3P に基づき説明。
- ・(1P 下段) 今年度、三重河川国道事務所が実施する施策は、白子駅シャトルバスルート(専用ルート区間)の設定、高速・国道 情報板・路側ラジオ(交通情報の提供)、コンビニ等での推奨ルートチラシ配布、Web ページで方面別所要時間提供である。
- ・(2P 上段) 白子駅シャトルバスルート(専用ルート区間)の設定について、予選と決勝日の両日、中勢バイパスの一部区間において、一般車両の通行規制を実施し、シャトルバスの専用ルートとして運用することで、現在交通規制の手続きを進めている。
- ・(2P 下段) 高速・国道 情報板・路側ラジオ(交通情報の提供)については、近隣の高速、国道の情報板で1ヶ月前から、通行規制、F1 開催時の交通渋滞に対する注意喚起を表示するよう準備を進めている。
- ・(3P 上段) コンビニ等で推奨のルートチラシ配布、および Web ページで方面別所要時

- ・間提供については、昨年度のF1開催時におけるプローブデータ等を活用し、昨年度の所要時間等を算出し、帰路マップに掲載やWebで発信することを考えている。
- ・平成30年度には中勢バイパス7工区が開通予定なので、開通後のことも念頭に置きながら、関係機関の皆様と協力して規制を進めていきたい。

(Ⅱ) 鈴鹿F1日本グランプリ2017への取り組みについて

【近畿日本鉄道株式会社 高橋氏】

- ・資料2『環境整備部会資料』4Pに基づき説明。
- ・臨時列車については、時刻表に載っていないため、いい時間でも乗車いただけないという課題がある。より多くの方に利用いただけるよう周知を図っていく。
- ・橋上内壁やホーム上屋などをペンキで塗り替え美装化する。あわせて和式便所を様式化するなどトイレをF1に間に合うよう改修する。
- ・仮設トイレも昨年度に引き続き、駅前ロータリーに設置予定である。
- ・英語対応コンシェルジュも、窓口で外国人対応することで、非常に迅速化したため、今年も同様に配置する。
- ・三重交通様に協力いただき、復路の1番バスの発車情報や、サーキットバス乗車場の状況など情報を連絡いただく。
- ・復路お客様滞留所については、昨年と同様の動線とする。また、階段は上り専用、エスカレーターは下り専用とし、こちらも昨年同様の運用とする。
- ・非会員制の特急チケットレスサービスが昨年11月に運用開始している。お客様の情報の入力を最小限にし、スムーズに購入できる。サービス内容を記載したチラシを乗車駅で配布し周知に努める。

(Ⅲ) 2017年鈴鹿F1日本グランプリについて

【伊勢鉄道株式会社 富澤氏】

- ・資料2『環境整備部会資料』6P～9Pに基づき説明。
- ・(6P 上段) 特急列車の運行本数は、基本的には資料のとおり昨年同様である。変更点としては、土曜、日曜の15時台の名古屋方面へ向かう便は、昨年利用が少なかったため、今年は運行しない。また昨年に引き続き、「ワイドビュー南紀」号を土曜、日曜の帰りの時間に、臨時停車させる。F1効果を三重県南部に少しでも波及させたい。
- ・(6P 下段) 臨時快速および快速みえについても、基本的には昨年同様である。変更点については、ナイトピットウォークの開催を見越し、土曜日の21時ごろ名古屋方面の臨時便を1本増やしている。詳しい時間について、特急は8/24、快速は9月上旬以降に開示されるので、ホームページで確認してほしい。
- ・(7P 上段) 鈴鹿サーキット稲生駅について、駅階段をでると当社の用地外となるため、地元自治会、警察、当協議会等にご協力を賜り、観戦者の皆様が快適にご利用いただけるよう利用環境の向上を図る。
- ・臨時乗車券販売所、仮設トイレ、仮設照明は今年も設置予定である。
- ・手荷物預かり所も佐川急便様の協力を得て今年も設置予定である。
- ・(7P 下段) JRと繋がっているので、「JAPAN RAIL PASS」を利用の外国人観戦者の方も多くいらっしゃるのでは、分かりやすい表示、案内を心がける。また当協議会おもて

なし部会の協力を得て通訳ボランティアブースも設置予定である。

- ・(8P 上段) (8P 下段) 鈴鹿サーキット稲生駅からサーキット道路までの歩道が今年の春につながったが、従来の出入り口部分が縁石設置されていた。夜間など危ないので、観戦で訪れるお客様の安全性、利便性を考慮して、歩道の設置、運用をする必要がある。
- ・(9P 上段) サーキット稲生駅からサーキットまでの歩道で、一部部分はきれいに舗装されているが、他の未完成部分は車道部分を歩道化して対応している。観戦者の安全確保のためには歩道を拓けるのが一番良いかと思う。当初は平成 23 年度完成予定であったが、現在は完成未定になっている。引き続き対応をお願いしたい。
- ・(9P 下段) サーキットホームページでは名古屋から四日市までの所要時間が 60 分となっているが、日本語版で見ると快速で 30 分となっている。また、F1 期間中は臨時便がでていることもあり、名古屋から乗り換えなしでアクセスできる。誤解の生じないようなかたちで表記をお願いしたい。

(IV) 平成 29 年度鈴鹿 F1 日本グランプリ輸送計画 (案)

【三重交通株式会社中部観光営業所 山本氏】

- ・資料 2 『環境整備部会資料』 10P に基づき説明。
- ・10 月 6 日～8 日の 3 日間、白子駅西口から鈴鹿サーキット臨時駐車場までの間、シャトルバスを運行させていただく。6 日については、6 時から 18 時、7 日、8 日は 6 時から 20 時までの運行時間を予定している。
- ・運行経路については、白子駅西口を出て亀山鈴鹿線を経由し、中勢バイパスの野町西交差点から稲生高校北交差点を利用して、鈴鹿サーキット 8 番駐車場へ向かう。
- ・10 月の 7 日、8 日については、三重河川国道事務所様、鈴鹿警察署様、各関係機関の協力を得て、中勢バイパスを利用させていただくことで、渋滞区間を回避し円滑な運行が可能になるということで、片道所要時間は 20 分と設定している。
- ・白子駅の乗降については、白子駅前商店街様の協力を得て時間帯の交通規制を実施し、乗降場所の設置を行う予定である。
- ・乗車券の発売については、白子では乗車券を購入せずに乗車いただいて、サーキットでの降車時に精算いただく。
- ・バス待機場所は、昨年は A G F 鈴鹿体育館をお借りしたが、本年は鈴鹿医療科学大学の駐車場をお借りする。
- ・決勝日のピーク時には約 70 台の車両を投入して、6 両以上の同時着車ができるような対応を行っていく。
- ・その他として、警備会社、社員を各主要地に配置して安全確保を図っていくとともに、IC カード導入して利便性向上に努めていく。
- ・名古屋行き直通バスについて、10 月 7 日、8 日の両日、運行の設定をしており、インターネット予約が 8 月 11 日から開始となる。運賃については、片道 3000 円、往復 5000 円と設定している。
- ・今年度も大量輸送に向けて、皆様のご協力をお願い申し上げます。

(V) 2017 鈴鹿 F1 日本 GP 対策案

【中日本高速道路株式会社名古屋支社桑名保全・サービスセンター 志岐氏】

- ・資料2『環境整備部会資料』11P・12Pに基づき説明。
- ・今年度の対策案として2点説明させていただく。
- ・(11P 上段)一つ目に、鈴鹿IC出口の信号の調整である。鈴鹿警察様の協力を得て、10月6日～8日までの3日間、「青」信号を長くし、できる限り高速道路の出口渋滞を緩和していきたい。
- ・二つ目に、高速道路の迂回推奨で、高速道路の鈴鹿ICが混雑することから、その手前の、四日市東IC、みえ川越IC、亀山ICでの流出の推奨ということで、そのIC出口の手前に標識車両を配備し、LED標識で案内させていただく。
- ・(12P 上段)表示内容については、図のとおり、ブリンク表示で周知をさせていただく。また、鈴鹿IC上下線の出口では、渋滞末尾での後尾警戒を実施する。

(VI) 交通対策について

【株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 久田氏】

- ・資料2『環境整備部会資料』12P～19Pに基づき説明。
- ・13～14ページは前回報告させていただいた内容である。
- ・(15P 上段)お客様への情報提供充実化として、WEBでの情報発信を強化している。具体的には、各交通機関様とリンクをさせていただいた。
- ・(15P 下段)こちらは、鈴鹿市内からサーキットへのアクセスマップである。
- ・(16P 上段)おすすめルートとして、なるべく鈴鹿市内を通らず、外回りで帰るルートを掲載している。右図は去年の所要時間を掲載し、お客様へルート選択していただけるようにした。
- ・(16P 下段)ホームページにAcProのリンクページを貼っている。去年はツイッターだけの募集だったが、今年はホームページからも周知をし、協力者を募っていく。
- ・(17P 上段)一番利用の多い民営駐車場から、バイパスを通って帰るルートを表示する。
- ・(17P 下段～18P 上段)海外からお越しになる観戦者向けの案内として、羽田、関空セントレアからの推奨ルートを表示する。
- ・(18P 下段～19P 下段)車でお越しいただく場合の案内図である。レンタカー情報も合わせて掲載する。

(VII) 2017 鈴鹿F1日本グランプリ救急救護体制及び火災対応体制について (案)

【鈴鹿中央消防署 酒井氏】

- ・資料2『環境整備部会資料』20P・21Pに基づき説明。
- ・両日とも交通教育センター及びコース内の救護所に、各所署員を配備する。全体として、消防指揮者を1名確実に配備し、その指揮のもと、救護および火災対応にあたる。
- ・10/8 決勝日は科学消防車をコース内に1台配備する。基本的にはもてぎサーキットからの高規格救急車を、交通教育センターとテクニカルセンターに配備、救急隊員3名を乗車させる。
- ・各コース内の救護所に1名ずつ、消防車両には4名の隊員を配備する。
- ・負傷者発生時における対応については、医師、サーキット職員とともに救護に当たり、

現場の指揮者の判断をもとに救急搬送やその場での処置を行う。

- ・21 ページの図のとおり、救護所7箇所、交通教育センター、テクニカルセンターということで救護所に救急車する。
- ・昨年のF1においては、救護所にきたのは2日間で96名であった。
- ・救急車での搬送は決勝日に急病人として1名、もてぎの消防車で回生病院に搬送した。本年も昨年の実績を踏まえて、10月7日、8日の2日間、救急救護体制をとっていく。

(Ⅷ) 鈴鹿F1交通円滑化 2017年度実施計画(案)について

【鈴鹿市地域資源活用課長 岡田】

- ・資料2『環境整備部会資料』22P～30Pに基づき説明。
- ・この交通円滑化については、2009年から2011年までの3年間、国土交通省三重河川国道事務所様において、鈴鹿地区交通円滑化の社会実験を実施していただいております。2012年からは当協議会が事業を引き継ぐ形で実施しており本年で6年目となるものである。
- ・(23P 下段) 昨年の来場者数を考慮し、来場者数最大16万5千人を想定し、鈴鹿周辺の渋滞解消時間については、鈴鹿市内の速度低下時間を4時間程度、公共交通機関の分担割合を31%以上、決勝日におけるボトルネックである鈴鹿ICの利用割合を20%以下と設定する。
- ・(24P 下段) 公共交通機関、自動車交通ほか、一覧のとおり、昨年と同様の取り組みを考えている。一部抜粋すると、シャトルバス専用レーンの運用について、昨年同様のルートの設定に向けて関係機関と調整させていただいている。また、中勢バイパス第7工区が、平成30年度に供用開始されることを踏まえ、今後のシャトルバスルートの設定や、交通規制について、検討しながら実施していきたいと考えている。
- ・内容の細かな変更はあるが、これまで積み上げてきたものを踏まえ、発展させていく方向で進めていきたいと考えている。
- ・(25P 上段) 昨年協議会HPのF1交通アクセスのトップページを改修し、各方面から鈴鹿サーキットへのアクセスをわかりやすく表示した。また、各交通事業者様に御協力いただき、時刻表や乗換え案内等も掲載した。今年度も引き続き、関係機関に御協力を賜りながら、情報を更新して参りたいと考えている。
- ・(25P 下段) 現在、協議会HPが日本語、英語、フランス語、韓国語、中国語の簡体字、繁体字の6言語対応となっておりますが、外国人観戦者の増加を受けて、交通アクセスに関する情報等を拡充していく予定である。記載のとおり、白子駅からのシャトルバスの情報や、帰宅時の渋滞に関する情報が現在のところ掲載できていないため、関係機関と調整しながら、ホームページを更新して参りたいと考えている。
- ・(26P 下段) 参考資料として、2016年の交通円滑化施策の評価として目標の達成度を掲載した。昨年は、鈴鹿周辺の渋滞解消時間、及び、公共交通機関分担割合ともに目標を達成することができたが、鈴鹿IC利用割合のみ、目標を達成することができなかった。
- ・(27P～28P) それぞれの目標に対する詳細な評価資料となっているので、合わせてご確認いただきたい。

- ・(29P 下段) 今年度の臨時シャトルバス専用レーンに伴う交通規制案について、この取組は、近鉄白子駅と鈴鹿サーキット間を結ぶシャトルバスを走行させるにあたり、中勢バイパスを交通規制し、専用バスレーンとすることで、円滑な輸送を実現するものである。F1 開催時の 10 月 7 日 (土) (予選) と 10 月 8 日 (日) (決勝) において、6 時から 20 時まで、決勝日については 21 時まで交通規制を実施予定である。一部区間については、14 時から規制を実施する区間もある。
- ・(30P 上段・下段) 中勢バイパスと県道鈴鹿亀山線との野町西交差点から稲生西交差点までの区間については、上下線、稲生西交差点から徳田町北の交差点までの間は上り線をそれぞれの時間、規制し臨時シャトルバスレーンとするものである。今後、この規制案について、地域の自治会様、三重河川国道事務所様、鈴鹿警察署様、鈴鹿サーキット様と協議しながら、臨時シャトルバスレーンの設置に伴う交通規制を決定して参る。また、今年度もシャトルバスを含め、公共交通の利用促進にむけた取組を行っていくので、引き続き、ご理解・ご協力を賜るよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・環境整備部会からの説明は以上である。

②おもてなし部会【資料 3】

- ・資料 5『おもてなし部会資料』1P～11P に基づき説明。

【鈴鹿サーキット 上甲氏】

- ・(2P 下段) ジュニアピットウォークについて、今年度も 10 月 5 日 (木) に、5 市 1 町の小学生を対象に、ジュニアピットウォークに参加いただく。今年は 6 校 401 名の方に参加いただく。
- ・F1 に興味を持っていただけるよう F1 チームとの交流事業や出前授業を事前に行い、効果的なピットウォークとなるよう、取組を進めさせていただく。

【鈴鹿商工会議所 阪田氏】

- ・(5P 下段) 通訳ボランティアブースを、近鉄白子駅、鈴鹿サーキット稲生駅、今年度より鈴鹿サーキット園地内にある商工会議所青年部のブースにも配置し、実施する。
- ・これまで、高校生のボランティアの参加は不可としていたが、時間帯によっては、参加いただくこととする。

【鈴鹿商工会議所青年部 矢田氏】

- ・(6P 上段) 10 月 6 日～8 日の 3 日間、鈴鹿サーキット園地内で F1 応援イベントを開催させていただく。
- ・メッセージオトケ隊は、ドライバーへの応援メッセージを国旗に記載いただいて、それをドライバーに届けさせていただく。
- ・くれないのチェッカーフラッグは、優勝ドライバーを観戦者に予想していただき、的中した方に、実際に使用されたチェッカーフラッグを贈呈させていただく。
- ・昨年より実施し、好評であるボディペイントを今年度も実施させていただく。SNS 等で発信してもらい鈴鹿を PR していきたいと考えている。
- ・鈴鹿で会いたい市場を開催し、鈴鹿ブランドの認知度を向上させるとともに、アンケ

- ・一ト調査を行い、抽選で鈴鹿ブランド賞品をプレゼントする企画を行う。
- ・(6P 下段) 10月9日(月・祝)に鈴鹿市文化会館周辺にて、おしごと体験ワールドを開催させていただく。
- ・ボックスカートについては、休止とさせていただく。
- ・青年部設立40周年記念事業として、地域のこども向けに、ものづくりのまち鈴鹿をPRするイベントを予定しており、様々な職業体験ができるよう調整している。
- ・モータースポーツの魅力も発信できるようなイベントも検討していきたいと考えている。
- ・(7P 上段) F ツイ割については、F1観戦にお越しになった方向けに、情報提供をする。観戦チケットやパドックパスを提示すれば、各店舗で割引特典を得ることができる取組を今年度も実施する。

【特定非営利活動法人鈴鹿モータースポーツ友の会 福山氏】

- ・(8P 上段) 今年で、4年目となる取組である勝速日神社とコラボレーションし、モータースポーツにちなんだオリジナル絵馬の販売や祈願の受付などを実施する。昨年の実績としては、勝速日神社及び鈴鹿市観光協会にて85枚、F1協議会のブースでは、69枚、合計154枚であった。
- ・(8P 下段) F1日本グランプリ観戦会については、3年目となる取組であり、鈴鹿のまちを存分に楽しんでいただく、1泊2日の観戦会で、全国からお越しの友の会の会員の皆さんに観戦いただくとともに、市内の様々な施設を利用し、鈴鹿市そのものを理解いただいて、一人でも多くの鈴鹿市のファンを作っていきたいと考えている。
- ・海外のメジャーレース開催時は、開催都市が大変賑わっている。微力ではあるが、鈴鹿の盛り上げに貢献したい。
- ・友の会の会員以外でも、参加できるような観戦ツアーを地元旅行会社と連携し、展開しているので、ご報告させていただく。

【三重県雇用経済部観光局 河口氏】

- ・(12P 下段) サポート宿泊施設の実績としては、県内の宿泊を促進させるため、三重県観光連盟と協力し、取り組んでいる。昨年のF1開催期間中の実績は、4日間で509人であった。
- ・それぞれの施設については、F1グッズの抽選会や、F1の映像を流すなど、宿泊者が喜んでいただけるような独自の取組を展開され、宿泊者から好評である。
- ・現在、サポート宿泊施設を募集しており、鈴鹿市観光協会と連携し、宿泊情報を提供していく。
- ・三重県5市1町の観光・物産PRブースでは、みえ食旅パスポートの臨時発給を行う。昨年の実績としては、3日で503冊の発給があった。引き続き、情報発信、臨時発給を通じて、県内周遊を楽しんでいただけるような取組を行っていく。
- ・(13P 下段) 「MADE IN MIE」出店については、昨年、県のフードイノベーション課が、伊勢志摩サミットで提供された、農産物、地酒、鈴鹿墨を利用したTシャツなど、飲

食5ブースと物産8ブースの計13社が出店し、553万円の売り上げがあった。

- ・来場者に、出店者ともに好評いただき、今年度は出店者を増やしての実施を考えている。
- ・三重あそび、F1観戦ツアーについては、鈴鹿市と連携し実施させていただいており、多くのお客様を期待している。効果的な情報発信を行い、国際的なイベントであるF1日本グランプリを盛り上げていきたい。

【ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 石井氏】

- ・今年もF1に合わせて、三重の食材を使用した三重フェアを開催する。
- ・9月1日から11月30日まで開催する三重フェアの内容としては、今年は生産者にスポットを当て、Farm To Table、農場から食宅までをキャッチコピーに、フェアに取り組んでいく。
- ・三重県産の肉、魚、果物を使った料理と鈴鹿のお酒「作」などを提供する。
- ・F1にスポットを当てたフェアとしては、マクラーレンホンダのスポンサーである、CHANDON、F1と関係の深い、Heinekenとのタイアップし、フェアを開催する。
- ・9月3日に各市町のご当地キャラクターにお越しいただき、ホテルでイベントの開催を予定しており、三重フェアと5市1町の観光PRを行う予定である。
- ・ホテル内、6店舗の各レストランにおいて、三重の食材を使用したこだわりの料理を提供させていただく。

【事務局 鈴鹿市地域資源活用課 小野】

- ・【2P 上段】イオンモール鈴鹿において、9月30日(土)～10月8日(日)の期間、熱田護氏の写真展を実施させていただく。
- ・【3P 上段】イオンシネマ鈴鹿において、10月5日(木)～8日(日)の19時より、映画「伝説のレーサーたち～命をかけた戦い～」を上映させていただく。
- ・【3P 下段】鈴鹿日本グランプリ地元前夜祭については、今年度もイオンモール鈴鹿の第3駐車場をお借りし、10月6日(金)に実施させていただく。
- ・内容としては、ステージイベントを中心に物産販売などを実施予定であり、今年はブースの配置やステージイベントを工夫し、より魅力的な地元前夜祭となるよう調整している。
- ・【4P 上段】三重県・5市1町 観光・物産PRブースについては、10月6日(金)、7日(土)、8日(日)に鈴鹿サーキット園地内にて実施させていただく。
- ・【7P 下段】F1ツイ割のクーポン参加店に、共通フラッグを掲出いただくとともに、Web上でのマッピングを実施し、利用者の利便性の向上にむけて、取り組んでいく。
- ・その他、海外からの観戦者が増加傾向にある中で、環境整備部会でも発表させていただいたが、F1協議会のホームページの外国語対応ページを改修し、特に交通アクセスについての情報発信を強化していく。
- ・おもてなし部会として、今年度は各取組を発展させる形で、実施させていただくので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(3) 2017年度予算案について【資料4】【鈴鹿市地域資源活用課長 岡田】

- ・2017年度 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 収支予算(案)に基づき説明。
- ・収入、支出とも10,685,788円(詳細については資料4参照)。

◎拍手多数により承認(2017年度事業計画案及び予算案について一括)

4 その他 【鈴鹿市地域資源活用課長 岡田】

- ・平成29年度 協議会・部会・運営委員会の開催日程に基づき説明。
- ・今後、F1日本グランプリ終了後に各部会で事業を検証し、その結果を1月に開催予定の協議会にて報告させていただきたいと考えているので、皆様の出席をお願い申し上げます。

15:25 終了

次回開催は、平成30年1月中旬ごろを予定いたしております。